

平成 22 年度第 6 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 22 年 10 月 22 日（金） 15:00 ~ 17:00

場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者： 4 名 玉城徳正（患者遺族）、金城尚美（沖縄県立中部病院）、
樋口美智子（那覇市立病院）、西田悠希子（琉球大学医学部附属病院）

欠席者： 5 名 田名勉（友声会：患者）、崎浜海里（マインドケアおきなわ）、
山川宗貞、（沖縄県医務課）、仲村実和子（北部地区医師会病院）、
増田昌人（琉球大学医学部附属病院）

陪席者： 2 名 前川守秀（沖縄県医務課）城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成 22 年度第 5 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について（8、9月）

資料 2-2、2-3、2-4 に基づき、8 月、9 月に各拠点病院にて開催された患者サロン及び沖縄がん患者ゆんたく会の報告書について確認が行われた。

2. がん相談件数

資料 3 に基づき、樋口部会長より 8 月、9 月のがん相談件数について報告があった。

	8 月	9 月
北部地区医師会病院	<u>未報告</u>	<u>未報告</u>
沖縄県立中部病院	<u>8 件</u>	<u>10 件</u>
那覇市立病院	<u>3 件</u>	<u>4 件</u>
琉大病院	<u>25 件</u>	<u>30 件</u>

3. 第 4 回がん相談支援員実務者研修会実施報告書について

資料 4 に基づき 10 月 14 日（水）に琉球大学医学部臨床研究棟大学院セミナー室にて開催された「第 4 回がん相談支援員実務者研修会」について、西田委員より報告があった。当日は、症例検討会や「看取りの時期にできること」と題し、棚原陽子看護師（琉大病院緩和ケア認定看護師）による講演会が行われた。参加者は 28 人であった。

4. その他

玉城委員より、今月末にびんくばんさあ（乳がん患者会）の患者サロン「びんくばんさあリボンズハウス」が開設されることが報告された。また、他にも飲料品販売企業と提携し、ピンク自動販売機を設置し、購入した一部が寄付されるシステム等も導入している。

【協議事項】

1. 「がん患者必携 地域療養情報改訂版」の今後の見通しについて

資料 5 に基づき、現在改訂版を作成中である患者必携「地域の療養情報」について、再度内容の精査が行われた。また、今後どのような形で患者さんへ配布を行なうのか、拠点病院としての取り組む体制、また来年以降も継続的に配布していくのか等、今後の方針や各医療機関への普及方法などが検討された。

2. 平成 22 年度相談支援部会事業計画について

資料 6 に基づき、今年度事業計画の進捗状況について確認が行われた。

取り組みの優先順位としては、先ずセカンドオピニオンアンケート調査と、各医療機関の診療体制に関するアンケート調査を優先に行なう事が確認された。また、事業計画である、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」についての研修会は、年内開催を目標に進めていくことが検討された。(候補場所：大浜第二病院)

3. セカンドオピニオンアンケートについて

資料 7 に基づき、11月15～30日を調査期間目標として、セカンドオピニオンアンケート調査を拠点病院を除く 29 医療機関の常勤医師を対象に実施することが承認された。依頼は、那覇市立病院、中部病院、琉大病院で以下の様に分担することになった。

中部病院	県立北部病院、もとぶ野毛病院、海邦病院、宜野湾記念病院、沖縄病院、中頭病院、中部協同病院、中部徳洲会病院
那覇市立病院	ハートライフ病院、沖縄赤十字病院、沖縄セントラル病院、大原病院、おもろまちメディカルセンター、大浜第一病院、浦添総合病院、同仁病院、嶺井第一病院、沖縄協同病院、オリブ山病院
琉大病院	南部病院、豊見城中央病院、与那原中央病院、南部医療センター・こども医療センター、アドベンチストメディカルセンター、南部徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、県立宮古病院、石垣島徳洲会病院、県立八重山病院、

4. 県内の医療機関における診療体制についてのアンケート調査について

資料 8 に基づき、県内の医療機関に対して診療体制についてのアンケート調査を行なう事が承認された。調査については、沖縄県がん診療連会協議会からも沖縄県、沖縄県医師会へ要望する様、11月19日（金）に開催される第3回がん診療連携協議会審議事項へ挙げることになった。

5. 次回の部会日程

11月16日（火）を有力候補として調整し、後日事務担当より連絡されることが承認された。